

## インタビュー研究ご協力のお願い

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター  
JPOP (Japan Public Outreach Program) 委員会  
代表 大橋靖雄 (東京大学大学院医学系研究科教授)

### 依頼趣旨

財団法人パブリックヘルスリサーチセンターの JPOP® (Japan Public Outreach Program) は、一般国民、患者、医療関係者に向けた「正しい医療情報の発信」に取り組んでいます。その活動のひとつとして今回、がん体験者の方やそのご家族、そして医療従事者の方を対象に、ご自身の体験をお聞きするインタビュー調査 (JPOP-VOICE[がん]研究) を行うこととなりました。インタビューの中でうかがった内容は、逐語録をもとにキーワードを分類していく質的分析という手法を用いて整理をいたします。この研究は、体験者の方の視点や体験に重きを置いた、近年注目されている重要な研究です。

また、体験者の方の視点に基づくこの研究の成果を、広く国民の皆様には発信することは、同じ体験をされている方の不安が少しでも取り除かれ、治療と向き合う励みとなったり、より多くの方にがんに対する理解を深めていただいたりする上で、たいへん役立つ資料となります。JPOP®では、ウェブサイト「JPOP-VOICE 体験者・医療者からのメッセージ」(<http://jpop-voice.jp/>)を2007年10月に開設し、がんの体験者・医療者の声を動画、音声、文字等でお届けしております。今回の研究成果も、このウェブサイトを通じて広く発信したいと考えています。

以下の「インタビューについてのご説明」をお読みいただき、本研究の趣旨にご賛同をいただける場合には、ぜひご協力をいただけますと幸いです。音声のみ、もしくはテキストのみの掲載をご希望の場合も、ご相談に応じます。

### お問い合わせ先

住所： 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 11-7 ライフサイエンス出版  
JPOP-VOICE 編集部 宛 (担当者：毛利、古橋)  
電話： 03-3664-7900 (代表)  
ファックス： 03-3664-7734  
Eメール： [jpop@lifescience.co.jp](mailto:jpop@lifescience.co.jp)

## インタビューについてのご説明

ご協力をお願いしたい方々

以下の条件に該当する20歳以上の方約50名(但し、研究期間を延長する場合には、人数も増える可能性があります。)

- (1) がんの体験者の方
- (2) がんを体験された方のご家族
- (3) 医療従事者の方

調査の概要

期間: 平成20年12月1日~平成27年3月31日(但し、この研究は、より多くの方の声を抽出することを目的としていることから、研究期間を延長する可能性があります。)

形式: 調査員によるインタビュー調査

所要時間: 1~1時間半程度

日時と場所: ご協力いただける方のご都合に合うよう調整

インタビューで伺いたいこと

- (1) がん体験者の方やそのご家族に

プロフィール

がん体験者の方のご誕生年

ご職業

がんの種類・診断された年

現在までの治療経緯

診断前後

痛みなどの症状の有無や内容

診断されたときのお気持ち

病気、病院、治療などについての情報や助言をどのように入手されたか

そのうち一番役立ったのは誰から、どこからの情報だったか

治療を受ける病院を決めた決め手(掲載時は病院名を伏せさせていただきます)

金銭的なこと、家族のこと、仕事のこと、日常生活のこと、食生活のことなど、

診断前後の時期に気になっていたこと

診断前後で、医療体制等についてここがこうだったらいいなと思ったこと

治療時

治療法についての情報や助言はどのように入手されたか

そのうち一番役立ったのは誰から、どこからの情報だったか

治療法を決めたときの決め手

治療を受ける直前のお気持ち

治療後の痛みなどの症状の有無や内容、どう対処されたか  
治療前後で、役立ったことや心の慰めになったこと(もの、人など)  
病気または治療の影響で、現在、日常生活上不便を感じていること  
金銭的なこと、家族のこと、仕事のこと、日常生活のこと、食生活のことなど、  
治療前後の時期に気になっていたこと  
治療前後で、医療体制等についてここがこうだったらいいなと思ったこと  
診断から治療を経て、うれしかったこと

#### 治療後

病気になってから日頃気をつけていること  
病気にまつわることで、今知りたい情報など  
金銭的なこと、家族のこと、仕事のこと、日常生活のこと、食生活のことなど、  
今、気になっていること  
現在、医療体制等について、ここがこうだったらいいなと思うこと

#### 他者とのコミュニケーションについて

医師、看護師などとのコミュニケーションで、説明が少ない、気持ちが分かって  
もらえないなど困った経験  
医師、看護師などとのコミュニケーションで、役立ったこと、うれしかったこと  
医師や看護師などとのコミュニケーションで、留意したこと、心がけたこと  
ご家族(または体験者の方)とのかかわりで、役立ったこと、うれしかったこと  
ご家族(または体験者の方)とのかかわりで、留意したこと、心がけたこと  
同じ患者同士でとられたコミュニケーション

#### その他

体験者(やそのご家族)として、患者さんやご家族へのメッセージ  
体験者(やそのご家族)として、医療従事者や医療体制に対するメッセージ

## (2) 医療従事者の方に

### プロフィール

ご誕生日

ご職業

現在までのご経歴

### 緩和ケアについて

痛みの原因や治療、痛みを感じている患者さんへのアドバイス

臨床における緩和ケアの取り組み

日々必要性は感じながらも取り組めていないこと

### 患者さんやご家族への情報提供や助言について

情報提供のスタンス(客観的情報だけ提供する、「私だったら」という助言のしかたとする、など)

患者さんやご家族がより納得できる意思決定を支援するための工夫、心がけていること

### 医療従事者と患者・家族のコミュニケーションについて

- 患者・家族とのコミュニケーションで留意していること、心がけていること
- 患者・家族とのコミュニケーションで難しいと思うこと
- 多忙な臨床の実態について
- 必要性は感じながらも取り組めていないことについて
- その他
  - 医療従事者として、現在がんと向き合っている患者さんやご家族へのアドバイス、メッセージ
  - 医療従事者として、医療従事者や医療体制に対するメッセージ

このインタビューにおける倫理的配慮を含む説明事項

- (1) このインタビューへの協力は、自由意思にもとづきます。協力しないことで、不利益を被ることは一切ありません。
- (2) インタビューに応じた場合でも、答えたくない質問を拒否したり、途中でインタビューをとりやめたりすることができます。それによって不利益を被ることは一切ありません。
- (3) インタビューの中で語られた内容は、そのインタビューにご協力いただいた方にご同意いただける範囲内（実名／匿名、映像／音声／テキストのみ）で、ウェブサイト「JPOP-VOICE 体験者・医療者からのメッセージ」(<http://jpop-voice.jp/>)上への掲載か、学術雑誌などへの発表のいずれか、あるいはその両者を予定しています。
- (4) ウェブサイトに実名を掲載した場合に限らず、たとえ匿名であっても、映像を掲載したことで個人が特定される可能性があります。また、掲載された内容に対して、視聴者からの問い合わせや、場合によっては苦情などが寄せられる可能性があります。当研究班に寄せられた問い合わせに対しては、当研究班が可能な限り責任を持って対応いたしますが、個人が特定された場合には、当研究班を介さず直接問い合わせが寄せられる可能性があります。その際には、お気軽に当研究班までご相談ください。
- (5) インタビューは、録画、あるいは録音をさせていただければ幸いです。ただし、録画・録音は断ることができ、それによって不利益を被ることは一切ありません。許可をいただいて録画・録音したテープから、テープ起こしを経てインタビュー内容のワープロ文書を作成しますが、ワープロ文書からは個人のお名前や病院名など、前項(3)で実名掲載のご了解をいただいたインタビュー協力者のお名前を除き、全て削除いたします。
- (6) 後日、必要に応じて再インタビューをお願いする場合があります。ただし、再インタビューへの協力は断ることができ、それによって一切不利益は被りません。
- (7) 録画・録音テープとワープロ文書は、施錠された別々の保管庫に保管されます。保管庫の鍵は事業代表者の責任の下で管理を行い、個人情報 JPOP-VOICE 研究班メンバー以外に漏洩することはありません。
- (8) 収録物の著作権および編集権は、財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会に帰属します。ただし、インタビューにご協力いただいた方またはそのご家族より、動画や音声の削除・修正のご希望があった場合には、ご希望に基づき随時対応いたします。

- (9) 収録した動画、録音などは、JPOP-VOICE 研究班が医学的、科学的、倫理的見地からその妥当性を厳密に検証し、それに基づいて編集を行います。

#### インタビューの手順

- (1) 直接のご応募または患者会等を通じたご依頼
- (2) インタビュー収録内容・収録日時・収録場所のお打合せ
- (3) インタビュー収録
- (4) インタビュー内容の分析
- (5) 分析に基づいた映像・音声・テキストの編集
- (6) 編集された映像・音声・テキストのご確認と必要に応じた修正
- (7) 編集後、ご同意をいただいた範囲で JPOP-VOICE ウェブサイト上に動画・音声・テキストを掲載、学術雑誌などへ発表

#### その他

インタビューにご協力くださいました皆様には、御礼として 20,000 円をお渡しいたします。

その他、JPOP-VOICE についてご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

#### 研究班( : 代表者)

大橋 靖雄	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 代表 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学分野 教授
下妻 晃二郎	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 委員 立命館大学生命科学部 生命医科学科 教授
武原 信正	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 実行委員長 ライフサイエンス出版株式会社 代表取締役社長
宮田 裕章	東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座 准教授
吉江 悟	東京大学大学院医学系研究科 GCOE 拠点 次世代型生命・医療倫理の教育研究拠点創成 特任助教
大久保 豪	東京大学大学院医学系研究科 老年社会科学分野 特任研究員
毛利 公子	ライフサイエンス出版株式会社 編集部 次長
古橋 久乃	ライフサイエンス出版株式会社 編集部 編集者